

談天

DANTEN



みつばやし ひろゆき
三林 宏幸

一般社団法人東北経済連合会 監事

“鉄道人魂”、そして東北の活性化に向けて

特に東北エリアにおいては、厳しい気候、険しい環境下のもと、JR 東日本東北本部では、在来線6,108.5kmのうち、主に宮城・山形・福島県を中心に、1,089.1kmの運行管理を担っています。

弊社には“鉄道人魂”という言葉があります。列車が2本のレールの上を走行していく。単純なように見えますが、日々、お客さまの命をお預かりする鉄道の安全・安定輸送は、車両・軌道・レール・電気・踏切等の各種整備、列車の操縦、お客さまへのご対応等、様々な業務の地道で確実な実践と連携により成り立っています。そして、我々は鉄道を必要としていただいているお客さまのために、多くの関係各社さまとともに、1年365日、鉄道を当たり前のように運行させるという使命感を持ち、昼夜を問わず業務に取り組んでいます。それが“鉄道人魂”です。

今は、まさに東北の厳しい冬季の真っただ中。自然災害の激甚化といったリスク・課題等にも向き合いながら、我々は“鉄道人魂”を胸に、鉄道を必要としていただけるお客さまのご期待にお応え出来るよう、鉄道の安全、そして安定輸送に向け、不断の努力を積み重ねていきたいと思っています。

1872年10月14日、新橋～横浜間で鉄道が開業し、昨年、150年という節目の年を迎えることが出来ました。これまでの先人の皆さまのご労苦・ご功績に、そして関係の皆さまのご支援等に対しましては感謝の念に堪えません。

現在、長引くコロナ禍をはじめ、東日本大震災からの復旧、人口減少・少子高齢化、エネルギー、為替、更には安全保障に関わる問題等、取り巻く課題は数多く、環境も激変しています。こうした中、我々も次なる50年・100年に向けてスタートを切るとともに、明るい未来を切り拓いていくためには、東北がより一層の連携を図り、諸課題に対処していきながら、東北一体となって、地域社会の持続性と魅力を高めていくことが大切です。我々も東北で業を営む一員として、弊社グループ中期ビジョンに掲げる「変革」を推進し、東北の様々な魅力の掘り起こしと発信、多くのお客さまの流動の創造、そして地域経済の活性化に少しでも貢献できるよう、皆さまとの連携を大事にし、取り組んで参りたいと思います。

(東日本旅客鉄道株式会社東北本部 執行役員東北本部長)